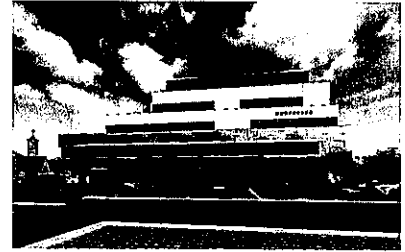


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	京都府舞鶴警察署	階数	地上4F	
建設地	京都府舞鶴市北田辺51番地他	構造	SRC造	
用途地域	商業地域、第1種住居地域	平均居住人員	377 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2028年12月 予定	評価の実施日	2025年1月17日	
敷地面積	4,104 m ²	作成者	株式会社内藤建築事務所	
建築面積	1,671 m ²	確認日	202 年 月 日	
延床面積	5,203 m ²	確認者	京都府警察本部長 吉越清人	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.2 ★★★★★★☆☆☆☆ S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★	★☆☆☆☆★☆☆☆☆★☆☆☆☆★☆☆☆☆★☆☆☆☆ 30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆ 100%超: ★ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.7	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.4
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.6	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.1	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 警察署庁舎を集約することにより、迅速な指揮系統の確立と利便性の確保、治安維持機能及び防災拠点機能の強化、脱炭素社会の実現へ向けた省エネ性能の充実を確立し、総合的に機能的で環境に優れた建物としている。		
Q1 室内環境 F☆☆☆☆建材の採用、京都府内産木材の使用など、室内環境の向上に配慮している。	Q2 サービス性能 建物の安全性の確保しつつ、天井高さの確保(階高4.4m~4.6m)等により、建築物の機能性を高めている。	Q3 室外環境(敷地内) 道路境界沿いには植栽帯を設け、歩行者に配慮した計画としている。また、街並みや景観に配慮した外装材の選択をしている。加えて、施設の一部を民間へ開放できるよう計画している。
LR1 エネルギー LED照明など、高効率な設備機器を採用している。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓、節水便器やリサイクル建材を導入し、省資源に取り組むとともに、内装壁のGL工法や執務スペースなどのOAフロアの採用により、将来の部材再利用可能性向上にも配慮している。	LR3 敷地外環境 駐車場・駐輪場について、適当な台数を見込み、警察関係車両は別の出入口を設けることで、交通負荷抑制に寄与する計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される